

創作と作業との歴史的發展

Historical Development of Inventions and Occupations.

(平均年齢滿七歳より七歳半迄)

デュキー原著

大塚喜一譯

前に（十月號所載）想像と經驗せる事實とに就て、相關に就て、作業の社會的又は人間的局面と科學的又は物理的の局面との關係に就て述べ來りたる所は、此處にも同様に能く應用せらる、只作業を區別する所の諸性質を記載する事が殘されてゐる。

此處では作業を歴史的に取扱ふに、縦に引出されたる諸要素を以てする。云はゞ是等の要素が當座の生活の中に共存せるとは趣を異にするのである。

一、此事は、此時期に於て爲さるる精神的集中の増進に對應して更に大なる明確さを許容し且要求する——換言すれば更に抽象の度を進むる事である、若し此言葉が、既に存在せる經驗を、一つの特種な觀念を持來さんが爲に或種の要素の消去と他の種のものゝの強調とを通じて故意に單純化するといふ意味

に用ひられてゐるならば。例へば、農業は、前時期に研究せられたる所では、或る人々が何を爲すか、即ち彼等は如何なる諸物に接觸し、如何に是等を用ひ、且農夫は如何に他の人々に役立つかを單純に示した。農業の課程を歴史的透視を以て取扱ふ際には、其材料の多く（註、前學期にて研究せられたる所）を回顧すると共に、此職業を呼起す所の人間生活に於ける特殊の必要に就て強調し、且社會の構成に對する其反應を研究する。或る場合には、問題は實現さるべき情況として取扱はれ、又他の場合には其代表的動機及効果が發見され追求さるべき所の或物として取扱はる。而して、歴史的陳述は現存せる社會生活の分析の一方法として用ひられるので、過去の或者に就ての報告としてではない——子供達は人類學者に依て蒐集せられたる材料の多くを取入れるといふ事がわかつてゐるけれども。

二、歴史的進路は又、進歩の順序と秩序とに對して其より大なる且一層明瞭なる姿態に注意せん事を要求する。此注意は遊戯の中に因果律と論理的依存との觀念を持來す、但是等の言葉は奥妙なる意義にて用ひられたるのではなくして、(1)作業の様式、(2)其自身に附隨せる工夫と創作、(3)創作が生活の上に反應し且遊戯の中に新しき力や新しき聯想の様式を導き入れ且又今迄は支配されなかつた自然の目的物や諸種の力を取扱ふ様に導く所の道行等を呼起す所の諸要求の想像的考慮を意味する。秩序正しき且堆積的なる物語は實に具體的形式をなせる論理であつて、此形式は此時期の子供の心に適合するものである。

註、推積的物語とは童話の中核的事件又は精神を目指してそれが成立する様に次々に諸種の事件を生起せしむるを云ふ。例へば花咲爺の犬・白・灰による類似せる事件が相ついで起り其度毎に善惡の對照的効果が益々明瞭となるが如きを云ふ。

三、此事は、多くの觀察者が兒童の此時期の特徴として記述してゐる所の、原始及野蠻人に於ける興味による使用を暗示する。吾人の目標は、此興味の感覺的又は繪の如き姿に氣を取られて之に只興奮し且耽溺し、而して其背後に横はる動機や更に進歩すべく與へらるゝ刺戟や人々が野蠻より脱して文明に進みゆく道行等に無關心なる事を避くるにある。吾人の爲すべき努力は之を投影として用ふる様に此興味を確保する事である——即ち其缺點をも其劇的出來事と同様に之を摘出し、如何にして且何故に人々は此興味より進んで文明に開化したかに注目する事である。Ab and Hiawatha の如き人の生涯の文學的理想化は、仕事の基礎及目的として用ひらるゝに非ずして、其姿態の或者の人格的實現を發展せしめ生氣あらしめむが爲の手段である。原始生活からの材料を用ふるのはそれが或る豫定せる又は獨占の價値を兒童生活の此時期に關して有してゐる事を意味するものではない事も亦注意を要する。それは進路の多くの可能なる様式の一に過ぎないが、主として其より大なる單純性が前に指示せる如き現今の生活を分析する方法を與ふるの故を以て選擇されたるものである。

四、前に自然物の觀察の人間の構成に就て述べたる一般原理は（本誌十月號參照）茲に地理に關係し

て例示し得られる。前時期に於ては、自然の姿態に就て生活の様式と關連して連續的に偶發的注意が爲され、それに依て野・森・丘等の種々異なる子供達の諸經驗が子供達自身の現在の周圍を觀察し且是等と比較するに至らしめた。然るに此時期に於ては、是等の自然の姿態の想像的な抽象及配列が歴史的方面に就て既に語られたる淘汰と順序とに對應して行はれる。産業の各方面に就ては注意は其自然的習慣の上に集注せらる——狩獵に對する山嶽森林等の如く。而して一つの職業が他のそれへと續いて來る場合には、子供達は特に適當なる地位を發見する迄は想像の中に旅行する。彼此かれこれする中に、彼等の粘土や砂の地圖の中にて各々の新環境は豫め呈示せられたる環境に附加せられ、遂には地文學的構成の總ての主要なる姿態は其相互の關係に於て導入せらるゝと共に定位せらるゝに至る。斯くして、地球の表面の典型的部分の繪が其多様な姿態即山・丘・川・谷・海等が一々互に關連し且人間生活の諸活動と關係する様な道程（方向、方法）に於て子供に残される。

著者による注意。——此章に於て論ずる特殊の職業は、(遊牧の・農業の・精神作業の) 諸發明及諸發見を包含せる職業の進化を實現せんが爲に、「ピクニック及キャンピングの經驗」を以て出立するものとして記述してある。地理・數・讀み書き・音樂・藝術・商業・料理・裁縫等は總て此中に其地位を見出す。